

# 阿賀野川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

～会津から越後まで流域一体となった被害軽減に向けた治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、阿賀野川水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取組を実施していくことで、国管理区間の阿賀川においては戦後最大の昭和22年9月洪水と同規模の洪水を、国管理区間の阿賀野川においては戦後最大の平成23年7月新潟・福島豪雨と同規模の洪水をそれぞれ安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



## ■河川における対策

対策内容 河道掘削、浚渫、河道拡幅、堤防整備、堤防強化、護岸整備  
横断工作物新築・改築、水衝部対策、宅地嵩上げ 等

## ■流域における対策

- ・計画目標1/10雨水貯留施設、雨水管、雨水ポンプ場整備
  - ・開発行為に伴う貯留施設整備
  - ・学校グラウンド等貯留浸透施設整備
  - ・雨水浸透升、貯留タンク設置への助成金交付事業
  - ・田んぼダム取組支援、既整備地区での農地関係者連携した適切な管理  
利水ダム等32ダムにおける事前放流等の実施、体制構築  
(関係者: 国、福島県、新潟県、東北電力(株)、電源開発(株)、土地改良区など)
  - ・浸水想定区域の居住誘導区域除外(現市街地を除く)
  - ・ため池堰堤耐震対策
  - ・既存樋管ゲートの無動力化
  - ・暗渠排水を備えた学校グラウンドの整備
  - ・下水道事業における雨水幹線の整備
  - ・管理されていない私有人工林の整備・保全
  - ・砂防事業
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

## ■ソフト対策

- ・水害リスクの高い区間の監視体制強化
  - ・通信事業者への映像情報提供
  - ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
  - ・国・県・市が連携した水防訓練の取組、危険箇所合同巡視 内水被害想定箇所での  
排水ポンプ車設置訓練
  - ・国・県・市が連携したタイムラインの運用、ハザードマップ作成
  - ・親子防災講座、自治会防災塾、小中学校出前講座、まるとまちごとハザードマップ  
などによる住民・教育機関への防災啓発
  - ・要配慮者施設への避難確保計画作成支援、出前講座
  - ・内水常襲地への排水ポンプ整備、設営訓練
  - ・マイ・タイムラインの普及啓発・作成支援
  - ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの整備
  - ・防災FM、防災メールの整備、SNSによる情報発信強化
  - ・地域防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
  - ・広域防災ネットワークの構築
  - ・防災行政無線戸別受信器の整備
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

凡 例

- 浸水範囲(戦後最大規模に対する氾濫解析)
- 大臣管理区間

※本図の浸水範囲は大臣管理区間における氾濫によって生じる浸水範囲を示しており、大臣管理区間外の氾濫による浸水範囲は含まれていません。  
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

S33.9.18 出水状況  
会津若松市上三寄地先

H23.7.30 阿賀野市下里  
JR羽越本線阿賀野川橋梁